



市ヶ谷だより

法政大学
市ヶ谷キャンパス
教職課程センター
2023年2月号(1/16発行)

☆教採突破へ「勝負の春休み」、この時期の努力が実を結ぶ !!

2次試験に向けて

埼玉県の2次試験は、論文試験、面接試験、集団討論を行います。2次試験対策は決して一人の力ではできないものではなく、戸塚先生をはじめとする教職課程センターの方々、教採を受ける仲間など多くの人の協力のおかげでできたものだと思います。

〈論文〉 講座の他に、2月くらいからは自分でも毎週最低1本は書くようにしていました。最初は800字の論文を仕上げるのに2時間かけて書いており、時には1時間全くペンが動かないこともありました。戸塚先生に添削していただいた論文は週末に必ず書き直しをするなど、自分なりの工夫をしました。

〈面接〉 ずっと目指してきた教員であるはずなのに、なかなか言葉にするのは難しく、言えない自分に悔しさを感じました。また、自分のことを人に話すのが苦手なことで極度の緊張から涙が出てきてしまう事があり、それを克服することが大変でした。とにかく数をこなすこと、これが合格への鍵になると思います。

〈集団討論〉 中学校の教員は集団討論の試験日が他よりも遅かったので、他の自治体の試験が終わってからいろいろな人に協力していただいて練習しました。人数が少ない時には、問題文を読んで構想を立てたり、話の流れを考えたりして人数が集まってできる練習を無駄にしないようにしていました。問題文にしっかりと正対すること、論文もそうですが、これが集団討論には大事なことだと思います。また、いいことが言えなくても、グループの中での自分の立ち位置を瞬時に判断し、グループの話合いをうまく進めていくことが重要です。(今年度、埼玉県中学校の社会科で合格したAさん)

— 個人面接・集団討論・論作文など、2次対策はもう始まっている —

年度末試験が終わるといよいよ「勝負の春休み」となります。春休みの頑張りや基礎・基本の定着が採用試験へ向け、合格への扉に真っ直ぐに突き進んでいけるのか、とても大きな意味をもちます。各自治体の教員採用試験の実施要項も3月中旬頃から発表されます。多くの皆さんが直前の5~6月に教育実習がありますので、2~3月が実力をつける最重要月間になります。教員採用試験の受験勉強は「自学自習」が基本ですが、「各種講座」など、教員を目指す仲間と励まし合って取り組むことで「ヤル気」スイッチが入ります。自分だけでは出来ない講座に継続して参加することで、対応力が身に付きます。



☆ 入試期間中でも Zoom での個別指導 (論文の個人添削、面接練習、相談など) が受けられます

大学入試期間中は教職課程センターが閉室となります。しかし、その期間も Zoom を活用して、論文の個人添削など個別指導を受けることが可能です。実施するのは2月8日、9日、16日の3日間です。積極的な活用を。申込みや問い合わせは教職課程センターへ。

2月 教職課程センター相談指導の予定 ★大学入学試験により2/7~2/9、2/14、2/16は閉室です

	9:00~12:20	13:20~16:00		9:00~12:20	13:20~16:00
1(水)	個別相談	個別相談	21(火)	論文対策講座	個別相談
2(木)	個別相談		22(水)	個人面接対策講座	個別相談
3(金)	個別相談		24(金)	論文対策講座	個別相談
15(水)	個別相談	個別相談	28(火)	集団討論対策講座	個別相談

☆ 講座は対面での実施を予定していますが感染症等の状況により Zoom での開催となる場合があります

◎相談指導・各種イベントのお申込みは◎

教職課程センター (月~金 9:30~17:30) に来室又はメール (kko@ml.hosei.ac.jp) にて。

【URL】 http://www.hosei.ac.jp/kyoushoku_katei/ ☎ 03-3264-5562